

講習No.
U05
選択

教師と子どものためのメンタルケア

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間

平成26年8月1日(金)

受講料

6,000円

対象職種

教諭、養護教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	佐藤 安子(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)
25人	6時間	筆記試験		吉村 夕里(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

主な受講対象者 小・中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

学校は学習の場であると同時に、教師、子ども、その家族の相互作用が生み出す人間関係の現場でもあります。したがって、教師の仕事には「教育」のみならず「対人援助」の仕事が否応なく含まれるようになっていきます。本講習では、個々の教師が晒されているストレスとその対処法に対する洞察を深めると同時に、教育現場における子どもやその家族に対する相談援助の在り方をグループワークや演習を通して実践的に学ぶことを目的とします。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:50(100分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:10(50分)	5限 15:20~16:10(50分)	6限 16:30~16:50(20分)
ストレス発生の仕組み 様々なストレスモデルを紹介するとともに、人間がストレス反応を生じるまでのプロセスについて理解する。	ストレスプロファイリングの作成 ストレスの自己調整の仕方についての質問紙を用いてストレスプロファイリングを個々に作成し、自らがどのようにストレスを取り扱っているのかについて日常業務や生活の仕方に照準を合わせながら理解する。	学校という場における集団力動 生徒や父兄対応について実際の事例をとりあげたグループ討議を行うと同時に、学校現場における対人援助場面のプロセスレコードを作成して生徒や父兄に対する適切な対応についての洞察を深める。	学校現場の対人援助の実際(その1) 学校現場の対人援助をめぐる課題について具体的な事例をとりあげてロールプレイ演習を行う。	学校現場の対人援助の実際(その2) プロセスレコードに基づいたロールプレイ演習を行い、学校現場における対人援助の実際について理解を深める。	修了認定試験